

【彙報】

②展示会・講演会開催報告

名古屋展示会・講演会

愛知大学創立 70 周年記念事業として、「東亜同文書院の 45 年、愛知大学の 70 年」と称した愛知大学記念館所蔵コレクション展と講演・上映会を 8 月 24 日から 28 日に「世界遺産ポンペイの壁画展」でにぎわう名古屋市博物館にて開催しました。

2006 年横浜での開催から毎年実施している催しは、東京、弘前、福岡、神戸、シカゴ、京都、米沢、名古屋、富山、那覇、長崎、岐阜、広島、松本に続く 16 回目を数えます。展示会は過去最も大きな展示室を利用することができ、大学記念館所蔵のコレクションを「日本人著名作コレクション」と「中国人著名作コレクション」に分類して展示し、さらにこの 70 年間の愛知大学学生のクラブ活動写真展コーナーも設け、愛知大学創立 70 周年を振り返るパネル等を展示しました。



名古屋市博物館の講堂には映画館のような大型スクリーン設備があったことから、8 月 27 日には、「書院 45 年と愛大 70 年」の記念講演・上映会を開催しました。

講演前に、ドキュメンタリーの「東亜同文書院から愛知大学の歩み『21 世紀にはばたく真の国際人の育成』」をお見せし、映像アーカイブズの「愛知大学記念館」「愛知大学公館」を、講演③のなかで解説を加えて紹介しました。

講演①は、藤田佳久氏（愛知大学名誉教授、東亜同文書院大学記念センター・フェロー）による「東亜同文書院大学から愛知大学へ」、講演②は、佐藤元彦氏（愛知大学経済学部教授、愛知大学前学長）による「『日中に懸ける』を超えて—東亜同文書院、愛大が輩出したグローバル人材に学ぶ—」、講演③は、田辺勝巳氏（愛知大学豊橋研究支援課長）による「『東亜同文書院大学から愛知大学へ』展示会・講演会」が発表されました。展示会には約 700 名（8 月 24 日から 28 日の期間）が、講演会には 130 名が参加されました。



なお、今回の展示会と講演会については、中日新聞と毎日新聞の読者が取材に訪れ、それぞれ紙面で紹介していただきました。